

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

しなやかで魅力あふれる産業中枢都市 豊田市

国道155号 豊田南バイパス

令和8年度 全線開通【予定】



令和7年10月
豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、頻発する自然災害や甚大な被害が想定される大規模地震、埼玉県八潮市の道路陥没事故等に見る老朽化したインフラの保全等の課題に直面しており、防災・減災、国土強靱化の着実な推進や交通の安全・安心の確保等により、国民の生命・財産・暮らしを守り抜く必要があります。また、米国による関税措置等の外的環境が変化する中でも、持続的な経済成長に向けて、生産性の向上等に寄与する戦略的な社会資本整備、DX等を推進するとともに、地方創生2.0や国土計画の実現に資する地域活性化やまちづくりの推進等に取り組む必要があります。

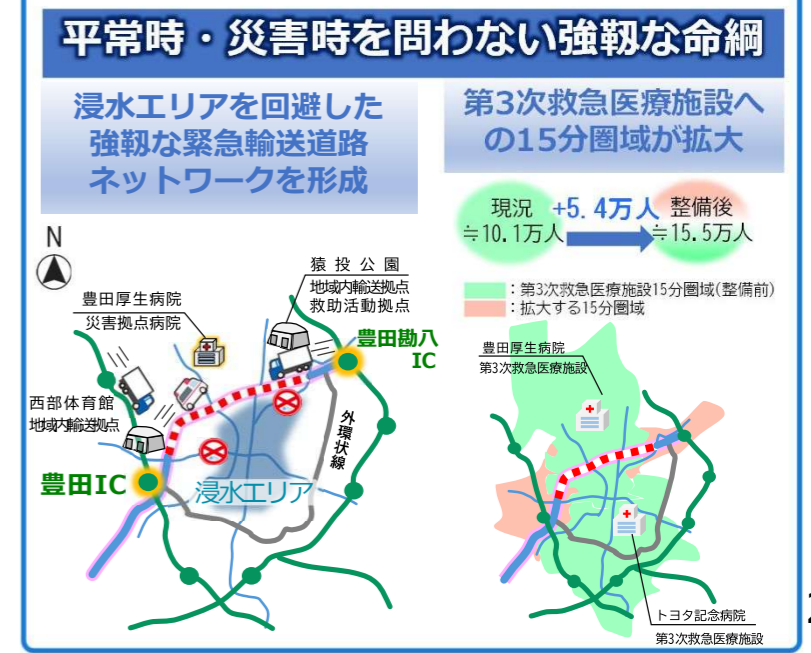
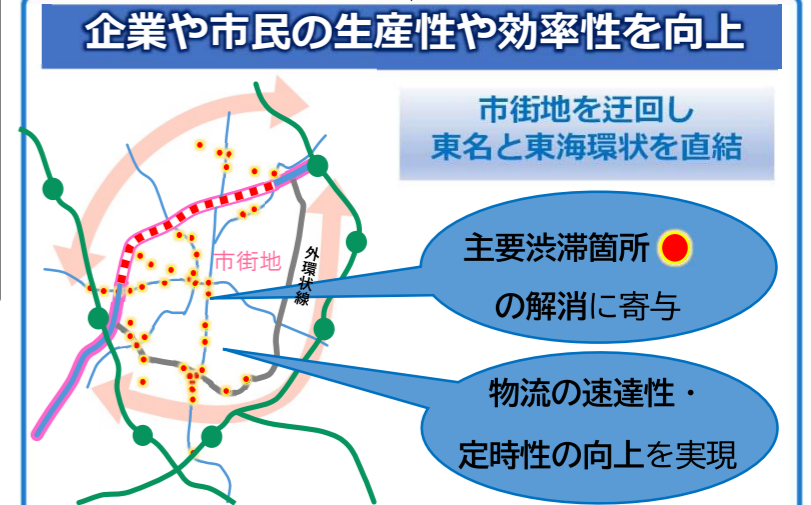
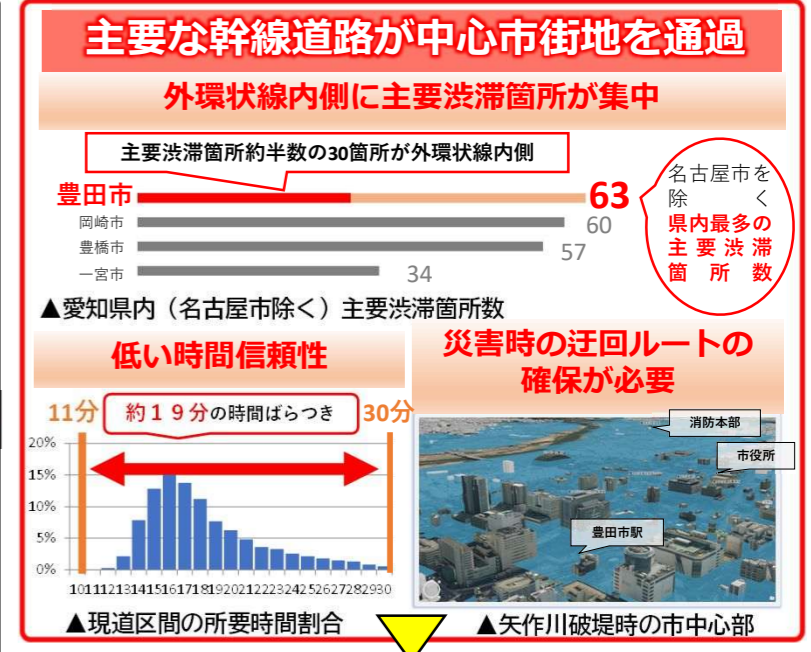
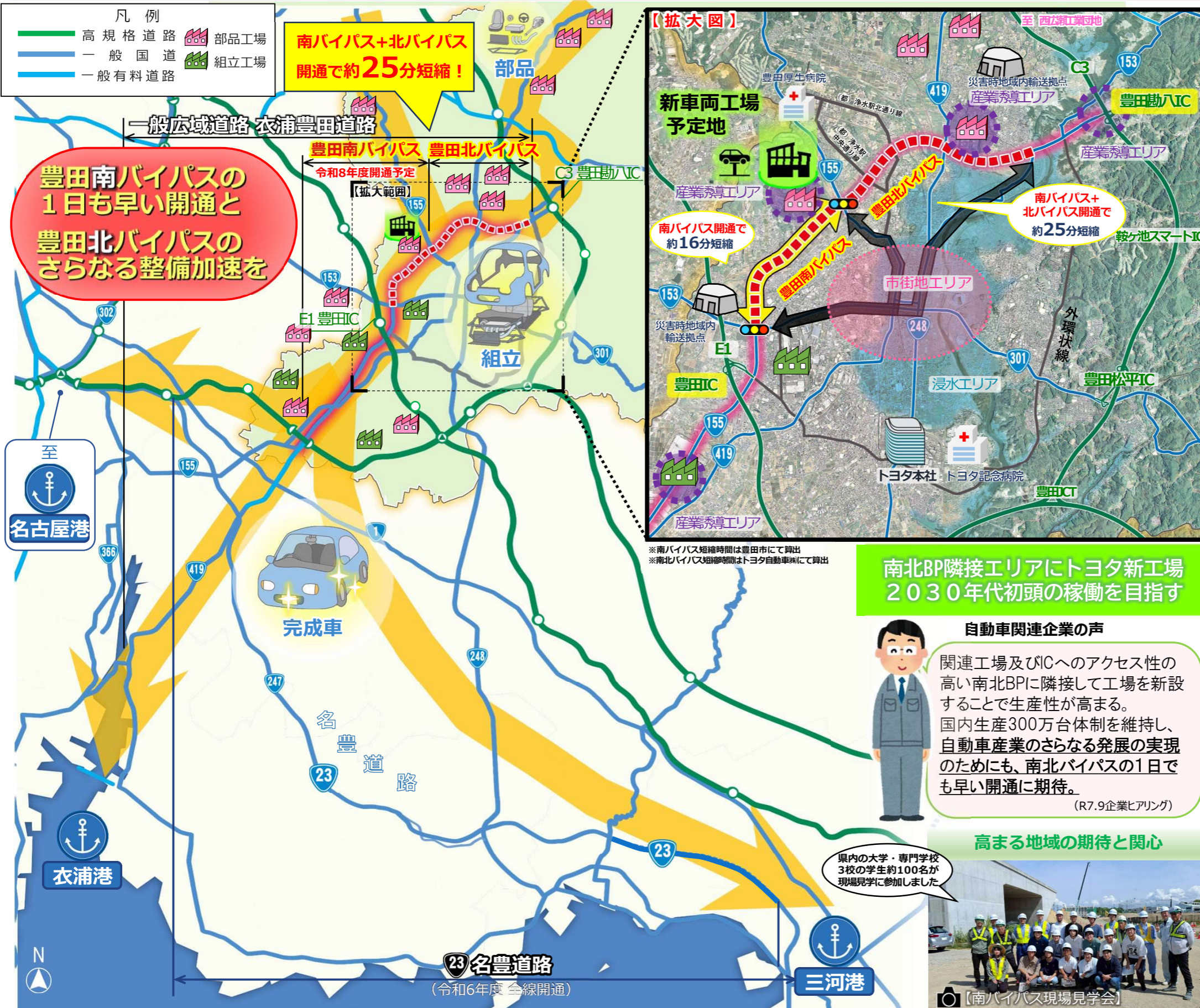
世界をリードする産業中枢都市である本市においても、自動車産業を取り巻く環境が激しく変化する中で、産業中枢都市としてこれまで以上に日本経済を牽引し強靱な国内経済基盤を構築するためには、産業拠点を国内にしっかりと定着させ、生産性の向上や国際競争力の強化などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や加速化するインフラ施設の老朽化などの様々な課題を背景に、防災・減災が主流となる安心・安全な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路は持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き強靱で効率的な人流・物流を実現する道路ネットワークの構築、予防保全型インフラメンテナンス及びDX等の推進などの防災・減災、国土強靱化の強力な推進、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 国内投資拡大や生産性向上につながる幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
特に、国道155号豊田南バイパスについては、令和8年度の全線開通に向けてより一層推進するとともに、一体的に効果を発揮する国道153号豊田北バイパスについても、計画的かつ着実に推進すること
- 2 強靱で効率的な人流・物流を支え、地方創生を実現する幹線道路ネットワークの整備について、特に、国道153号伊勢神改良を計画的かつ着実に推進すること**
- 3 第1次国土強靱化実施中期計画に基づく対策を切れ目なく着実に推進するため、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で満額確保すること**
- 4 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、新たな財源の創設等により、令和8年度道路関係予算は、資材価格や人件費などの高騰も加味した上で、所要額を満額確保すること**
また、国土強靱化や我が国の成長力・国際競争力強化に資する道路整備事業の令和7年度補正予算を速やかに編成すること

- 国際競争力強化や国内外の人流・物流を支えるネットワークの形成
- 切迫する巨大災害に対し、強靱な経済社会活動の基盤を形成

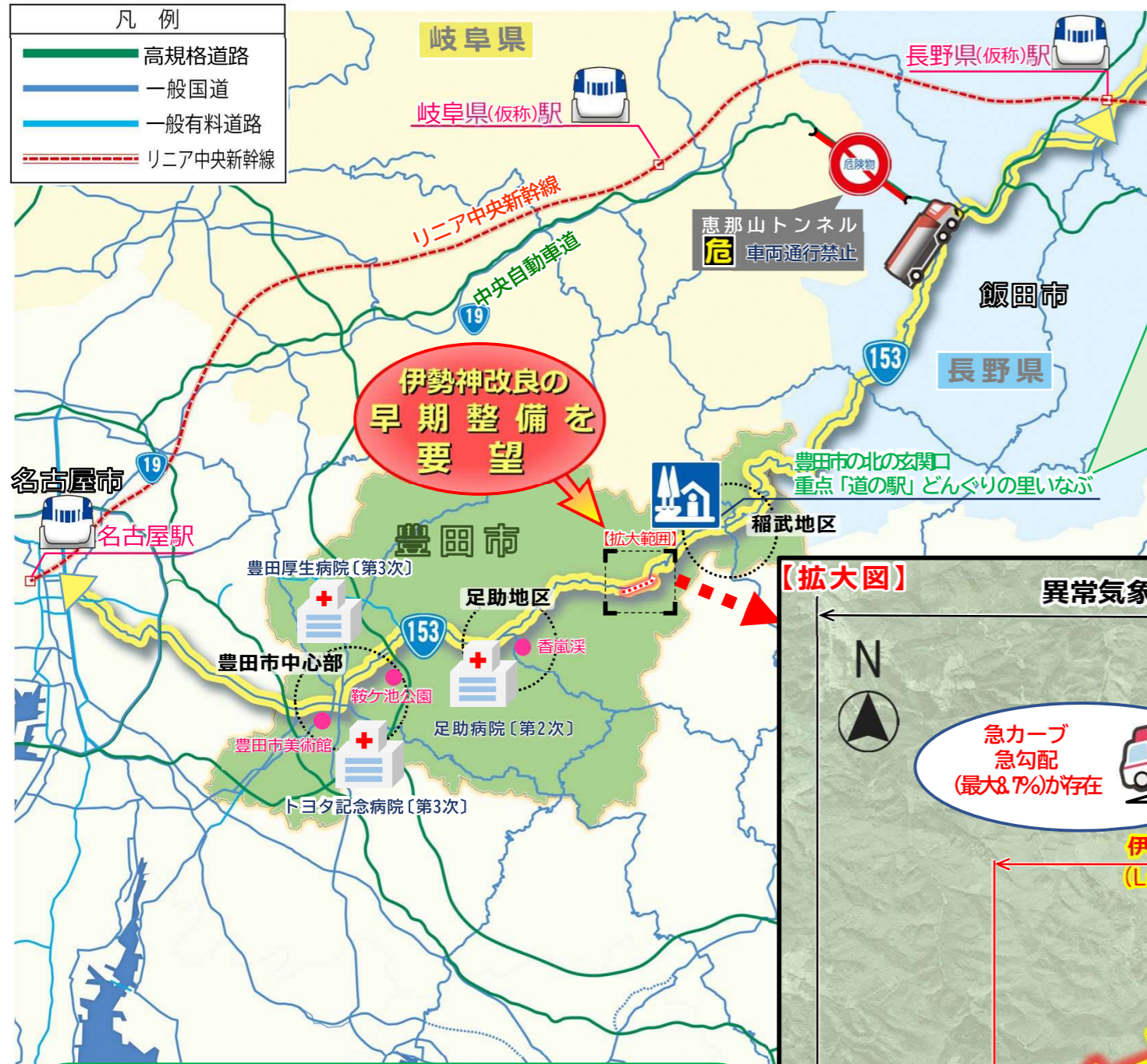




国道153号 伊勢神改良【直轄】

～強靱で効率的な人流・物流を支え、
地方創生を実現する道路ネットワーク整備～

- 人やモノの安心・安全な移動を実現する「命の道」
- 交流のセントラルハブとしてリニア駅を核とした広域観光交流圏を形成



重点「道の駅」 どんぐりの里いなぶ

国土強靱化

重点「道の駅」で災害時に備えた道の駅BCP訓練を実施（地域防災活動拠点）

地方創生

重点「道の駅」をRally Japan 2024におけるリエゾン応援会場として活用

道の駅を核とした地域力の向上、交流人口拡大【観光客数：約40万人/年】

県内唯一の異常気象時通行規制区間

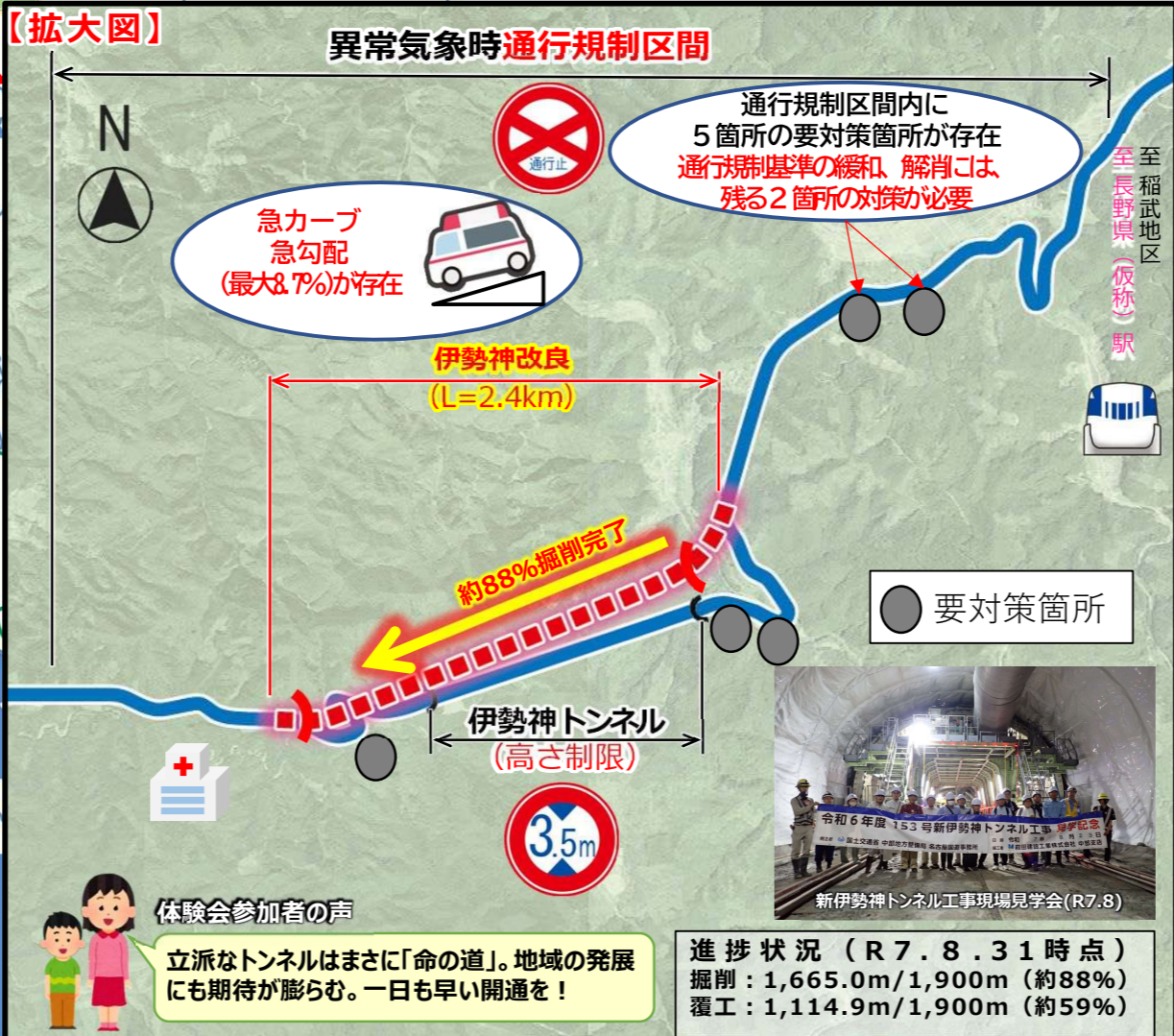
※1 直轄国道に限る ※2 連続雨量150mm

令和5年6月の豪雨で約10時間に及ぶ通行止めが発生！

管内唯一の高さ制限区間

※1 中部地方整備局管内 ※2 H=3.5mを超える車両通行不可

大型車は中央線をはみ出して走行！



国道153号周辺の主要観光地

豊田市博物館 (左)
豊田市美術館 (右)

鞍ヶ池公園

香嵐渓

豊田市中心部 豊田市中心部 足助地区

○観光客数：約47万人/年 ○観光客数：約137万人/年 ○観光客数：約62万人/年

観光客数は、R6.1～R6.12実績

広域危険物輸送の唯一のルートを確認

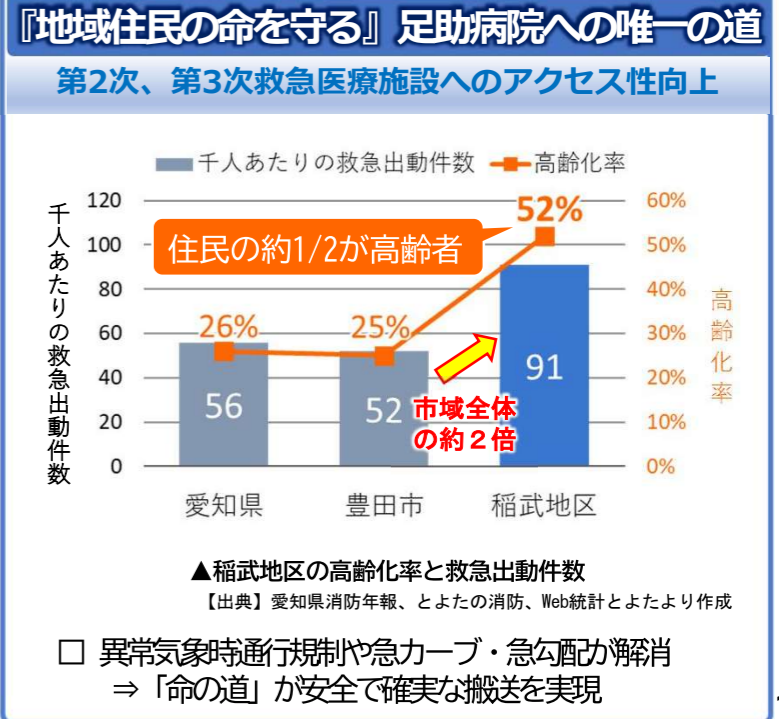
重要物流道路の信頼性や安全性を向上

危

国道153号が唯一のルート！
116台/日 (平日) が通行※

※【出典】H22.2名古屋国道事務所調査

安定したエネルギー供給により生産性を向上



- 最先端の研究開発施設を支援し、国の基幹産業である自動車産業の更なる発展を実現
- 安心・安全な山村地域の実現に必要な道路ネットワークを形成



連続する道路線形不良箇所

落石崩落箇所や交通事故発生地点が点在

- 第2次緊急輸送道路で、第3次救急医療施設のアクセス路
- 令和元年には死亡事故が発生。通学路にも指定

【国道301号(林添町)を横断する児童】

交通渋滞の発生

- 現道は急勾配・急カーブが続き大型車は減速
- 研究開発施設の稼働により、新たな交通需要の発生

【通勤時の交通状況】

至 トヨタテクニカルセンター 下山

山村地域のいのちと生活を守る

強靱な道路環境を実現

- 緊急輸送道路の代替性及び信頼性の確保
- 第3次救急医療施設や防災上の活動拠点へのアクセス性向上
- 大型・通勤車両の転換による交通安全の向上

【能登半島地震で崩壊した道路】

産業と観光の成長を支援

研究開発施設及び観光地へのアクセス性向上

- バイパス整備により、所要時間が約半分に
- 豊田松平IC・研究開発施設・観光地などのアクセス性が向上

【走行時間(分)】
 一根引・林添バイパス区間

整備前	≒8.5分
整備後	≒4.7分

所要時間約半分!

令和7年4月1日
**研究開発施設関連
 道路出張所開設**

総数17名(豊田市派遣3名)
 でアクセス道路整備を加速

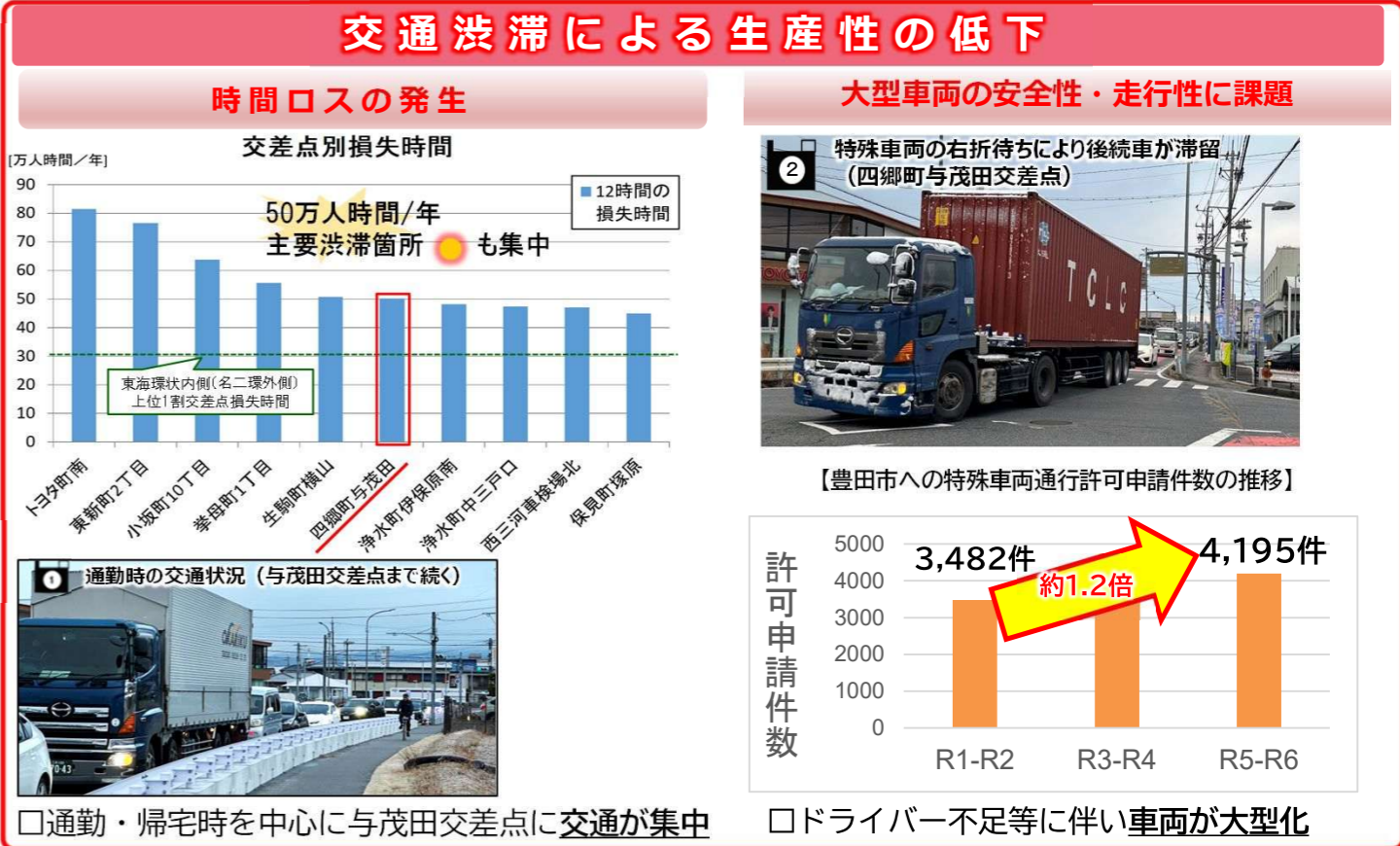
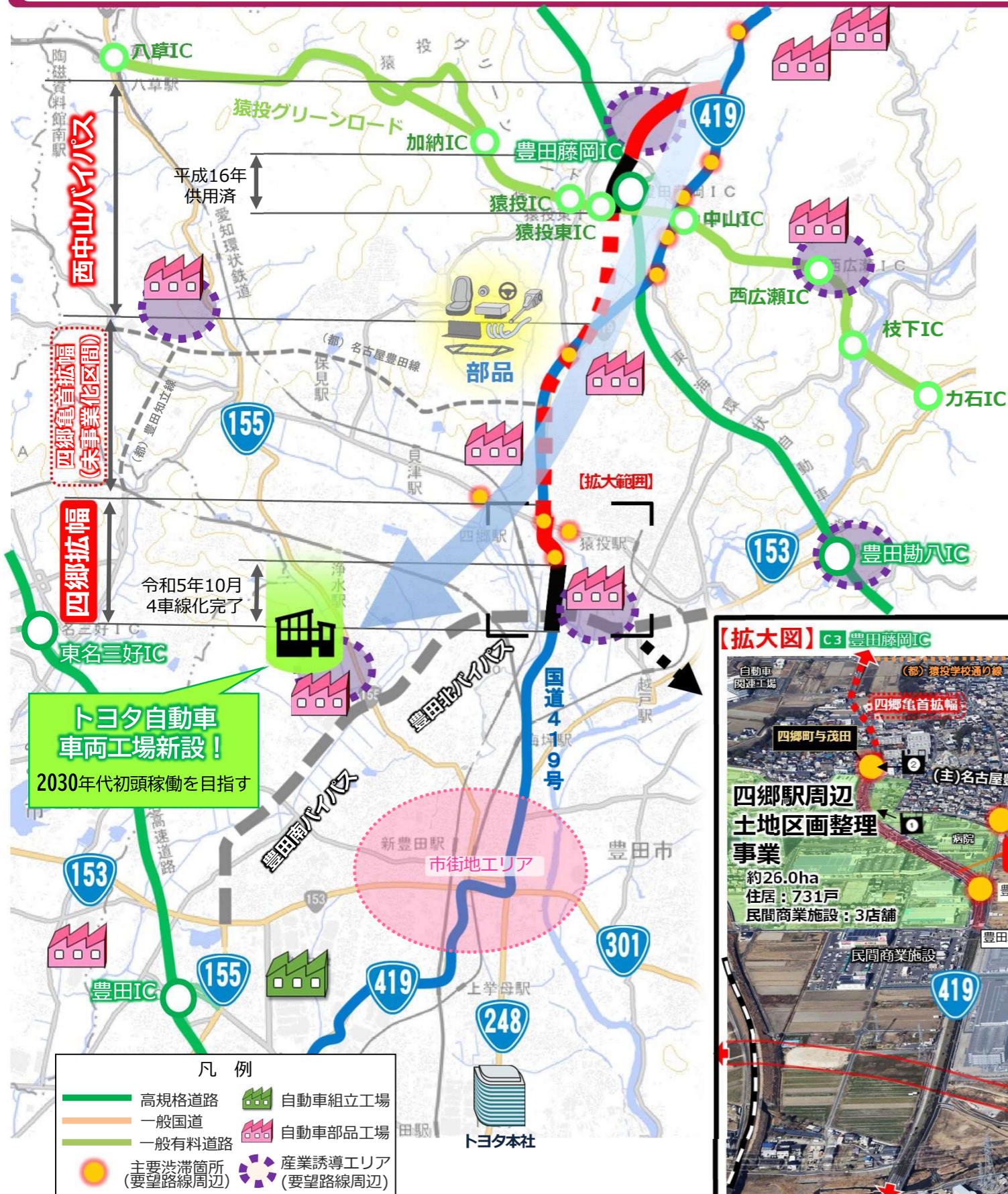
「もっといいクルマづくり」の拠点となる研究開発施設「Toyota Technical Center Shimoyama」

アクセス道路整備で「もっといいクルマづくり」をサポート

- 従業員数 3千人 (拡大し得る容量3,850人)
- 本社と下山間の出張者数 約22千人/年
- 開発車両の輸送 30便/日

根引・林添バイパスの開通により
 フルトレーラー輸送が可能となり輸送効率向上!

- 産業拠点とICへのアクセス性向上によるサプライチェーンの強靱化
- 4車線化整備により民間投資需要が増大するなどストック効果を発現



(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス【県事業】 ~ものづくり産業の基盤を支え
高規格道路へのアクセス

- 部品工場集積地と組立工場集積地を結ぶ、強靱なサプライチェーンを形成
- 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安心・安全な道路交通の実現



周辺幹線道路に交通が集中

県道宮上知立線の慢性的な渋滞

- 国道155号、国道419号、豊田南IC周辺は主要渋滞箇所指定されているほか、県道宮上知立線も慢性的な渋滞が発生
- 渋滞を避けるため、通過交通が生活道路へ流入し、交通安全上危険な状態

県道宮上知立線の慢性的な渋滞 (写真②)



住宅地へ流入する通過交通 (写真③)

道路交通の機能分担

ダブルネットワーク化を実現

- 交通事故発生時、災害発生時においても交通を確保し、物流の定時性を確保
- 現道区間の渋滞緩和、交通安全の向上



高規格道路と部品工場及び組立工場を接続

- 自動車産業のサプライチェーンを構築する部品工場集積地と組立工場集積地、高規格道路を接続し、物流の速達性を向上



中田工区 大型車の通行状況 (写真④)

安心・安全な道路空間の構築

日本の未来を担う子ども達の安心・安全を守るため、地域の
実状に応じた通学路等の交通安全対策の強化・推進が必要です。



国道153号 交通安全対策 歩道整備事業（直轄事業）



名古屋圏と三河山間部を結び、恵那山トンネルを回避する危険物積載車両の代替路線である国道153号において、歩道整備により歩行者等の安全性を向上

早期整備を要望



平成24年度にはバス停付近で
小学生×自動車の死亡事故発生

国道153号 電線共同溝事業 豊田小坂町電線共同溝(直轄事業)



豊田南バイパス～豊田市中心市街地間で、無電柱化により安全で快適な歩行空間の確保や電柱倒壊による都市災害の防止を図る

早期整備を要望

災害に屈しない強靱なまちづくり

災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安心・安全な社会を構築するため、防災・減災、国土強靱化の切れ目ない推進に向けた予算の確保が必要です。

持続可能なインフラマネジメント実現のための予算の確保

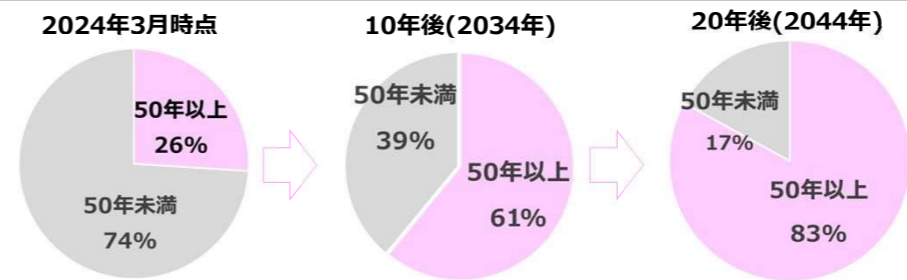
豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長	: 約2,590km	愛知県下 第2位
橋りょう	: 約1,200橋	愛知県下 第3位
横断歩道橋	: 41橋	愛知県下 第1位

※名古屋市を除く

愛知県下トップクラスの道路施設管理数の

20年後には80%以上の橋りょうが50年を経過



戦略的な予防保全型メンテナンスの推進

建設後50年を経過した橋りょう数の推移

デジタル化の推進（新技術の活用による施設の点検・診断）

道路パトロールの高度化・省力化

ドライブレコーダー、AI解析を活用した舗装点検
可搬型MMSを活用した点群データの取得

令和6年度中部DX大賞 奨励賞 受賞

新技術活用による橋りょう等の点検

点検ロボットカメラ
橋梁点検支援ロボット
小型ドローン
AIによるひび割れ自動検出

災害リスクに強いまちの実現のための予算の確保

事前防災による輸送ルートへの確保

緊急輸送道路などの重要道路を跨ぐ橋を重点的に予防保全を実施



緊急輸送道路における無電柱化を推進



豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



持続的な経済成長の実現

サプライチェーンの強靱化

- 国道153号 豊田北バイパス
- 国道155号 豊田南バイパス
- (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
 - ・主要地方道豊田安城線(榑塚西町～福受町)
 - ・主要地方道名古屋岡崎線(吉原町～和会町)
- ・(都)高橋細谷線

高規格道路へのアクセス性向上

- 国道419号 四郷拡幅
- ・国道419号 西中山バイパス
- ・国道419号 四郷亀首拡幅
- ・国道301号 益富拡幅
- ・(都)豊田則定線(高橋町)

個性をいかした地域づくり

活力ある山村地域の実現

- 国道301号 根引・林添バイパス
- ・国道420号 足助バイパス
- ・国道419号 藤岡飯野町交差点
- ・国道419号(北篠平町)
- ・国道473号(和合町)
- ・主要地方道足助下山線(籠林町)
- ・主要地方道足助下山線(大沼町)
- ・主要地方道豊田明智線(藤沢町)
- ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

市民の安心・安全の確保

強靱な緊急輸送道路ネットワーク形成

- 国道153号 伊勢神改良
- ・主要地方道豊田明智線(浅谷町～須測町)

緊急輸送道路の安全性向上

- ・国道153号豊田小坂町電線共同溝
- ・国道248号電線共同溝(豊栄町)
- ・国道153号、国道155号の防災対策及び橋梁の耐震対策
- ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策、橋梁の耐震対策

交通安全対策の強化・推進

- ・国道153号小田木、野入地区交通安全対策

凡例	色	内容
	緑	重点要望事項 (国事業)
	青	重点要望事項 (愛知県事業)
	赤	要望事項 ※○は最重点要望事項

令和7年10月3日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長

太田稔彦

豊田市議会議長

北川敏崇

豊田商工会議所会頭

三宅英臣